

へいせい ねんど  
平成30年度  
がっこうひょうか し  
学校評価のお知らせ



『ブルガリア共和国女子新体操ナショナルチームと交流』

きょうわこくじょししんたいそう こうりゅう  
へいせい ねん がつ にち たておかとくべつしえんがっこうだいいくかん  
平成30年6月25日 楯岡特別支援学校体育館



『運動会：全力で盛り上がり』

うんどうかい ぜんりょく も あ  
へいせい ねん がつ にち たておかとくべつしえんがっこう  
平成30年10月13日 楯岡特別支援学校グラウンド

やまがたけんりつたておかとくべつしえんがっこう  
山形県立楯岡特別支援学校

# 平成30年度学校評価アンケートの結果と改善策

山形県立楯岡特別支援学校

## 1 平成30年度学校評価アンケートの実施について

### (1) 学校関係者評価（保護者アンケート）の実施

保護者アンケートは、記入していただいたアンケート用紙に封をしてご提出いただき、学校評価委員（3名）が直接開封して集計を行った。

(2) アンケート項目については、経年における変動が読み取れるように、これまでと同様の内容を継続して実施した。

(3) アンケート結果をもとに、校長を含めた学校評価委員会で、31年度に向けての考察と改善策を提案し学校運営に生かせるようにした。

(4) 学校自己評価（教職員アンケート）も同様の方法で実施した。

(5) 結果は保護者にお知らせするとともに、学校評議員会でも報告し、助言を受けるようにした。

## 2 学校関係者評価（保護者アンケート） <別紙集計結果参照>

### (1) 分析

① アンケートに際しては、保護者への依頼文書に加え、締切前に担任が呼びかけるなどを行い、117家庭中114家庭（97.4%）の回答率であった。

② 4（よく当てはまる）と3（やや当てはまる）の段階を合わせた割合が、10項目中8項目が90%以上を占めており、全体的に良好である。

③ どの項目も平均値で昨年度比 $\pm 0.09$ 未満の変化で、概ね横ばいの状況にある。

④ 設問の中で①・⑦・⑧・⑩の項目に伸びが見られる。①「お子さんは、学校に行くことを楽しく思っている。」は、『子どもにとって 来るのが楽しみな学校』をめざす学校像として、楽しく充実した学校生活を保障して取り組んだ成果と考えられる。⑦「清掃や施設設備の整備がなされ、明るく機能的な学校環境になっている。」⑧「学校生活の安全が確保され、適切な健康管理・給食指導がなされている。」は、『保護者にとって 安心してたくせる学校』をめざして、学校の施設設備を有効に活用しながら、安全管理に細かな配慮を欠かさず指導した結果と思われる。⑩「本校の教育活動や児童生徒の活躍等について、地域に発信が出来る。」は、徳内まつり参加に保護者の協力を得たり、校外販売会やパスラボ山形ワイヴァンズとの交流をマスメディア等で報道したりするなど、活動の様子を見たり実感したりする機会が増えたからと考えられる。⑤「お子さんにとって、適切な学習目標や内容の「わかる」授業が工夫されている。」に増減はないが、更に授業改善や指導の工夫を積み重ねていくことが必要である。

⑤ 数値の低下が見られた項目で、②・③「学校や学級担任はお子さんの教育について、よく話を聞いてくれる・よく伝えてくれる。」⑥「学校は、お子さんや保護者の願いに耳を傾け、進路希望の実現や進路情報の提供に努めている。」は、担任と直接話す機会に限られるなかで、保護者がより多くの情報を得たり共有したりできるよう求めていると考えられる。④「学習の足跡の掲示や参観の機会などが確保され、児童生徒の学習の様子が見える。」⑨「お子さんにとって意義のある学校行事の企画・運営がなされている。」は、児童生徒の状況や保護者のニーズが多様化してきており、より一層社会に開かれた教育課程を実践していくことが求められている。

## (2) 改善策

- ① **2・3**について：傾聴する姿勢を基本に担任と保護者の信頼関係を高め、気軽に相談や意見交換ができる雰囲気づくりに努めていく。保護者の意見は管理職まで共有し、学校としても適切に対応していく。
- ② **6**について：キャリア教育に関するリーフレットを作成し、学校と保護者で進路に関する情報を共有しながら連携を進めていく。また、小学部から系統的な進路指導を行えるように、校内研修で教職員の専門性を高めていく。
- ③ **4**について：開かれた学校として、年間行事以外でも保護者が参観しやすい環境づくりや情報発信に努めていく。
- ④ **9**について：児童生徒や保護者の思いを的確に把握し、障がいへの細やかな配慮や支援の工夫を重ね、保護者の協力も得ながら行事の企画・運営を進めていく。
- ⑤ 記述によりいただいたご意見の中で、教育活動に関わる内容について教職員全体で確認し、改善できるものには迅速に対応していく。学校経営計画にも反映し、保護者や地域に積極的に取り組みの状況を発信していく。

## 3 学校自己評価（教職員アンケート） <別紙集計結果参照>

### (1) 分析

- ① 平均値が 3.0 を下回った項目（29・30 年度の両方または一方）は下表のとおりであった。  
(昨年度より数値が △上がった ▼下がった)

番号	設問内容	30年度 平均値	29年度 平均値
20	学校や本校児童生徒の理解のための地域社会への情報発信がなされている。(全)	▼2.89	2.92
24	学校運営に教職員の意見が反映されている。(全)	△2.83	2.65
25	校務の分担が適正に行われ、協働体制ができていく。(全)	△2.80	2.79
26	校務組織が機能的に整備されている。(全)	▼2.85	2.91
27	職員会議及び諸会議の設定が適切であり、機能している。(全)	△2.93	2.91
30	多忙感や負担感の解消に向けた取り組みがなされている。(全)	△2.59	2.51

### (2) 改善策

- ③ **20**について：保護者や地域が求める情報の内容や方法を確認するためのアンケートを実施し、情報発信の在り方を再構築する。また、学校から地域へと活動場所や取り組みを広げていくことで、市域社会との関りを増やしていく。
- ④ **24・25・26**について：数年のうちにベテラン教員の多くが定年を迎えるため、業務の継承や中堅・若手の教員育成の観点も含めて校務分掌を命課している。初めて担当する業務に戸惑いもあるが、ベテランがサポートしながら協働体制を構築していく。
- ⑤ **27**について：職員朝礼の削減や会議資料の電子化、グループウェアの運用など校務運営の見直しを行った。評価は昨年度より向上しており、ICT活用による校務の情報化が定着していくことで、さらに改善されることが期待される。
- ⑥ **30**について：ほとんどの月で昨年度より時間外勤務が減少しており、実質的なゆとりが増えてきている。見直しを持った主体的な取り組みや働き方の見直しがさらに推進されるように、教職員一人一人の意識を高めていく。

# 平成30年度 学校評価保護者アンケート集計結果

番号	設 問	0%	20%	40%	60%	80%	100%	%				30年度 平均	29年度 平均
								4段階	3段階	2段階	1段階		
1	お子さんは、学校に行くことを楽しく思っている。							62%	28%	8%	1%	3.52	3.51
2	学校や学級担任はお子さんの教育について、よく話を聞いてくれる。							59%	36%	3%	1%	3.51	3.54
3	学校や学級担任は、お子さんの学校での様子をよく伝えてくれる。							63%	34%	2%	1%	3.49	3.58
4	学習の足跡の掲示や参観の機会などが確保され、児童生徒の学習の様子が見える。							47%	46%	7%	0%	3.39	3.40
5	お子さんにとって、適切な学習目標や内容の「わかる」授業が工夫されている。							47%	44%	7%	1%	3.38	3.38
6	学校は、お子さんや保護者の願いに耳を傾け、進路希望の実現や進路情報の提供に努めている。							41%	52%	7%	0%	3.32	3.33
7	清掃や施設設備の整備がなされ、明るく機能的な学校環境になっている。							58%	38%	4%	0%	3.57	3.54
8	学校生活の安全が確保され、適切な健康管理・給食指導がなされている。							52%	43%	5%	0%	3.48	3.47
9	お子さんにとって意義のある学校行事の企画・運営がなされている。							44%	44%	11%	1%	3.29	3.32
10	本校の教育活動や児童生徒の活躍等について、地域に発信が来ている。							31%	44%	24%	1%	3.08	3.05
											3.40	3.41	

■ 4 よく当てはまる ■ 3 やや当てはまる ■ 2 あまり当てはまらない ■ 1 当てはまらない

※1 アンケートの実施期間は、平成30年11月5日(月)から11月9日(金)まででした。

※2 10の質問項目に対し、4段階で評価していただきました。

( 4:よく当てはまる 3:やや当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:当てはまらない )

※3 アンケートの回収件数は、114件(117家庭中)でした。

## 平成30年度 学校関係者評価（保護者アンケート自由記述）から

山形県立楯岡特別支援学校

### 【運動会・たてとく祭・徳内まつり】について

○「運動会」や「たてとく祭」を毎年実施してほしいという意見をいただきました。「運動会」と「たてとく祭」を、隔年で実施した場合と、毎年実施した場合について、子ども達の負担や他の年間行事の時期等も含めて、課題や成果を検討していきます。

○「運動会」について、学部ごとに競技場所を変えたことで見やすかったという意見と、移動なく全学部一緒に同じ場所で開催してほしいという意見をいただきました。

また、楽しそうに運動会に参加していた子どもの笑顔や一生懸命に頑張る姿が見られて感動したという意見と、もっと一人一人に合った競技内容を考えてほしいという意見がありました。

新しいグラウンドで初めて開催した運動会のため、今年度の反省やご意見を参考にしながら、より良い運動会となるように改善していきます。

○「とくない祭」が豪雨で中止になったが、運動会で「たてとく囃子」の披露があつて良かったという意見をいただきました。今後も高等部を中心に、希望する児童生徒が「とくない祭」に出演していけるよう、保護者の皆様からのご協力をお願いします。

### 【授業】について

○ 体力向上や肥満防止の取り組みにご意見をいただきました。本校は東京2020年オリンピック・パラリンピックの教育プログラム「ようい、ドン！スクール」に認証されており、体育の授業だけでなく、オリンピックやスポーツに関する様々な活動に取り組んでいく予定です。

○ 他校との交流を増やしてほしいというご意見をいただきました。交流や共同学習は山形県教育委員会が推進しており、近隣校や居住地校での交流により一層取り組んでいきます。

### 【情報発信】について

○ 学校の状況をもっと知りたいというご意見をいただきました。一方で、子どもに関する情報発信は十分に気を付けてほしいというご意見もありました。保護者や地域が求める情報の内容や手段を確認するとともに、個人情報の保護にも十分配慮しながら、必要な情報を発信できるようにしていきます。

○ 進路に関する情報をもっと知りたいというご意見をいただきました。現在キャリア教育のリーフレットを作成しており、学校や家庭で系統的な指導ができるように取り組んでいきます。

### 【その他】

○「修学旅行」の経費や旅行方面についてのご意見をいただきました。経費の高騰や消費税の変更、障がいに応じた交通手段や活動の配慮等で、学年によって前年度とは異なる見直しが必要な場合があります。保護者の皆様からご理解を得ながら、学習成果が得られる修学旅行となるように努めていきます。

## 平成30年度 学校評価アンケート集計結果（教職員アンケート）

項目	番号	内容	%										4%	3%	2%	1%	H30	H29
			0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%						
1 教育内容の充実	1	学校の教育目標や方針を意識し、具体的な取り組みに上げている。(個)											17.6	72.5	9.8	0.0	3.09	3.06
	2	児童生徒の実態に応じた目標や学習内容になっている。(個)											37.3	58.8	3.9	0.0	3.33	3.15
	3	児童生徒が十分に活動し、達成感の持てる授業が実践できている。(個)											11.8	76.5	11.8	0.0	3.02	2.94
2 教育計画及び指導方法	4	児童生徒の実態や障がい特性を踏まえ、指導方法を工夫している。(個)											39.2	54.9	5.9	0.0	3.33	3.35
	5	TTの授業では、役割分担を明確にして実施している。(個)											31.4	58.8	9.8	0.0	3.22	3.11
	6	個別の教育支援計画及び個別の指導計画について見直しを行い指導に活用している。(個)											23.5	60.8	13.7	2.0	3.11	2.96
3 小・中・高・舎の一貫教育	7	小・中・高の児童生徒理解や教育課程で一貫性のある指導ができている。(全)											2.0	58.8	39.2	0.0	2.67	2.67
4 保護者との連携	8	保護者の悩みや相談事に丁寧に耳を傾け、学習や生活上の課題を共有できている。(個)											41.2	56.9	2.0	0.0	3.41	3.17
	9	保護者の意向を個別の教育支援計画や個別の指導計画に生かし、授業等に反映させている。(個)											35.3	56.9	5.9	2.0	3.28	3.06
5 進路指導	10	児童生徒の実態に応じたキャリア教育や進路先の決定ができている。(個)											9.8	64.7	25.5	0.0	2.85	2.79
	11	卒業後の進路に関連する情報を収集し、保護者への提供に努めている。(個)											25.5	45.1	29.4	0.0	3.00	2.74
6 保健安全指導と危機管理	12	健康と安全についての指導を計画的に行っている。(個)											21.6	68.6	9.8	0.0	3.13	3.00
	13	児童生徒の障がいや疾病等について、養護教諭または関係医療機関と連携して対応している。(個)											31.4	58.8	9.8	0.0	3.20	3.15
	14	日常の食育指導を適切に行っている。(個)											35.3	58.8	3.9	2.0	3.30	3.20
	15	教室及び学習環境等の整理整頓を意識して行っている。(個)											43.1	49.0	7.8	0.0	3.35	3.09
7 生徒指導	16	危機管理及び災害避難訓練が適切に行われている。(全)											47.1	43.1	7.8	2.0	3.35	3.31
	17	児童生徒の生徒指導上の課題を把握し、指導の手立てを講じている。(個)											37.3	54.9	7.8	0.0	3.30	3.29
8 専門性の向上	18	学校研究及び自己研修に課題意識を持ち取り組んでいる。(個)											27.5	64.7	7.8	0.0	3.20	3.17
	19	地域に対し、特別支援教育のセンター的機能を果たしている。(全)											33.3	60.8	3.9	2.0	3.28	3.12
9 開かれた学校づくり 交流教育 関係機関連携	20	学校や本校児童生徒の理解のための地域社会への情報発信がなされている。(全)											11.8	60.8	25.5	2.0	2.89	2.92
	21	交流及び共同学習が適切に実施されている。(全)											25.5	58.8	15.7	0.0	3.15	3.02
	22	村山産業高校、医療、福祉、労働等の関係機関と連携が適切に行われている。(全)											23.5	68.6	7.8	0.0	3.15	3.08
11 学校運営	23	学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。(全)											39.2	58.8	2.0	0.0	3.39	3.28
	24	学校運営に教職員の意見が反映されている。(全)											9.8	64.7	21.6	3.9	2.83	2.65
	25	校務の分担が適切に行われ、協働体制ができている。(全)											3.9	70.6	23.5	2.0	2.80	2.79
12 組織 諸会議	26	校務組織が機能的に整備されている。(全)											7.8	70.6	19.6	2.0	2.85	2.91
	27	職員会議及び諸会議の設定が適切であり、機能している。(全)											9.8	72.5	15.7	2.0	2.93	2.91
13 サービスの意識	28	日々の教育課題や悩みなどを気軽に相談し合える職場の人間関係ができている。(全)											19.6	70.6	7.8	2.0	3.11	3.08
	29	服務規律を尊重し、事故や不祥事の未然防止について、自分のこととして受け止め努力している。(個)											56.9	41.2	2.0	0.0	3.57	3.45
	30	多忙感や負担感の解消に向けた取り組みがなされている。(全)											7.8	51.0	35.3	5.9	2.59	2.51
			■ 4:よく当てはまる ■ 3:やや当てはまる ■ 2:あまり当てはまらない ■ 1:当てはまらない														<b>3.12</b>	3.03